

の皮むけたみたいに、べろんべろん  
やったんよ、足が。

市役所いて聞いたら、土葬してくれ  
ちゅうて。善称寺さんそこへ土葬した  
気いすんねけども。

## 寺田病院

親戚の家でちょっと間住んでたんで  
すけども、私も全身火傷でしょ。こん  
なとこでいてたらあかんよ、病院へ行  
かなちゅうて。岸和田の向こうの蛸地  
蔵という駅に寺田病院ってあるんです  
よ。そこで1部屋入れてもうたんやけ  
どね。軍人さんいっぱいなんです。病  
院に。透明人間みたいに頭から包帯だ  
らけの人からもう。

火傷してもただ黄色のガーゼ貼るだ  
け、薬がないからね。私は足に焼夷  
弾の破片が当たって、ぱっくり割れて  
もたんですよ。歩けやなんでね。傷口  
にね、ガーゼ突っ込むんですよ。ほい  
て朝ね、ガーゼ抜きにくるんですよ。  
病院の人が。肉へガーゼ付いてるん  
ですよ。バツて取ってもて、ほてまた次  
のガーゼ入れるんですよ。1日1回で  
ガーゼ乾いてまいますわね。ただそれ  
だけのことでね。

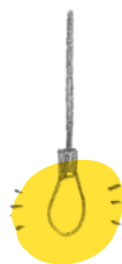
夏ですよってね、暑いんですよ。ハ  
エがいっぱい飛んでくるんでね、その  
ハエをこう、あおいでやんとね、追う

てやんとあかんのですよ。傷が膿んで  
くるでしょ。ほいたら包帯の上へ膿が  
いっぱい出てくるんです。そこへね、  
ハエたかるでしょう、ほいたらウジ虫  
わくんですよ。なんせもう扇いでやん  
ことには。

ほて夜になったらね、窓閉めやんこ  
とにはね、蚊が入ってくる。父がね、  
バケツへね、葉っぱとか、松の葉っぱ  
とか病院へ持ってきて、バケツで炊く  
んですよ。煙で燻すんですよ。煙たいの  
煙たないのてね。ほて窓開けてね、  
蚊を外へ出さんことにはね。蚊で蚊で  
寝られやんからね。ほいて、なにしたら  
窓閉めよて。窓閉めてね、クーラー  
らないですわね。夜はもう扇いでね、  
それでも寝やれたけどね。それがもう  
毎日やった。

## 疎開時代

そんなにしてひと月ほど  
入院して。それから退院  
してから、だんだん空襲  
なにしてくるから、もうお  
前ここにいてたらあかん、  
ちゅうてね。貝塚から水間鉄道で水間  
の観音さんまで行くんですよ。その1  
個手前に三松てゆうところあるんです。  
そこに酒屋さんがあって中谷家から養  
子にいつてる人がおったんです。大き



な酒屋さんでねえ。そらもう酒屋さん  
てみな大きいですわね。自分とこで酒  
こしらえてるよってね。そこへ疎開に  
行けって行たんす。祖母と私と2人  
で。

あの時分の空襲来てどんどんどん  
してる時でも、酒屋さんやったら酒  
あらね。ほて肉炊いてすき焼き。お客  
さん来たら一杯飲んで、わーってやる  
んですよ。そこのとこがねえ、新築の  
新しい立派な家なんですよ。私らはね、  
納屋、納屋へ入れられたんですよ。電  
球1個ぼってある納屋へ入れられたん  
ですよ。そこで祖母と2人でいてたん  
ですよ。

ほいて朝起きても何にも用事ないし、  
友達もないし。1人表で座ったりして  
たんすけども。その時らでも食べる  
もんたら、ほんまに無かったですよ。  
芋のツルの蒸したやつを食べたり。そ  
んなんがものすごくご馳走やってね、  
私ら。

ほたある日、祖母が卵食べさしてく  
れたんですよ。その家はねえ、お金  
持ってるし酒屋さんやからねえ、ニワ  
トリ飼うてたんですよ。そのニワトリが  
ね、朝になったら卵生むんですよ、コ  
ケッコ、コッココちゅうてね。卵生  
むんです。その卵を私にやって、食べ  
さしてくれたんですよ、1個だけ。そ

いたらそこのお母さんちゅう人が来て  
ね、「今日は卵生んでない。毎日卵生  
むのに卵生んでない」て言うてね。も  
う聞こえがしらにね。障子てゆうても  
こんな紙の障子だけなんですよ。ゆう  
んですよ。「なんで卵生まんのかな。毎  
日卵生むのに卵生まん」ちゅうて。祖  
母はだまーって聞いてましたよ。今で  
も覚えてるんですよ。



## 卵の恨み

いつまでも卵の恨みを私持ってるん  
ですよ。どうしても、卵の恨みがあっ  
てね。その家の人のゆうたん聞こえ  
てるよってね、卵の恨み持ってるん  
ですよ。

ほいて、それからひと月いてたかな。  
ちっと聞いたら戦争終わったでちゅて  
もう帰ろかちゅうてね。それでお世話  
になったて帰った。

それから、何十年も経ってからです  
わ。その疎開先のお嫁さんがうちへ来  
たんですよ。ある日、宝石かなんか持っ  
て私とこへね。扱こうてるんで買うて  
くれんかてゆうて来た。挨拶しなて言  
われたけど、私行かんちゅうて。卵の  
恨みあるよってね。絶対行かんてね。